

大阪府の4館は、国史跡などの重要な遺跡のそばに建てられていて、サイトミュージアム（遺跡と博物館が一体となったもの）として機能している点に大きな特徴があります。そして、重要文化財をはじめ府下の貴重な出土品を適切に収蔵、管理して未来に伝えるとともに、社会教育、学校教育、歴史研究に活用していく役割を担っています

弥生文化博物館は、水田稲作が始まった弥生時代をテーマにしています。

ホームページのアドレスは、<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>
近畿地方を代表する弥生時代の大規模集落である池上曾根遺跡（国史跡）があり、巨大な高床式の建物（いずみの高殿）が復元されています。

近つ飛鳥博物館は、日本最大の墳墓、仁徳陵古墳がつくられた古墳時代をテーマにしています。

ホームページのアドレスは、http://www.mediajoy.com/chikatsu/index_j.html
博物館は近つ飛鳥風土記の丘にあります。この風土記の丘では、約260基からなる一須賀古墳群（国史跡）を見学することができます。

狭山池博物館は、古代から現代にいたる治水とかんがいの歴史をテーマにしています。

ホームページのアドレスは、<http://www.sayamaikehaku.osakasayama.osaka.jp/>
近くには7世紀はじめに造られた狭山池があります。この池は行基・重源・片桐且元らがその治水に挑みました。博物館では池堤の断面と過去の池設備が見学できます。

泉北考古資料館は、泉北ニュータウンの過去の姿、すなわち日本最古の大窯業生産地を示しています。国の重要文化財、陶邑（すえむら）窯跡群出土の須恵器を展示しています。

ホームページのアドレスは、<http://www.pref.osaka.jp/bunkazaihogo/senkouko.htm>
須恵器とは灰色の硬い土器で、のぼり窯で焼かれます。陶邑窯跡群では、古墳時代から平安時代の窯が1000基以上確認されています。